

小松市教育委員会会議録

会議名	平成30年第6回小松市教育委員会定例会					
開会月日	平成30年5月11日(金)	場所	教育長室			
会議時間	(開会)午後1時30分～(閉会)午後3時8分					
休憩時間	①(休憩)午前・午後 時 分～(再開)午前・午後 時 分 ②(休憩)午前・午後 時 分～(再開)午前・午後 時 分					
委員の出席	教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	蘆邊 千鶴子	欠席	委員	吉原 慎吾	出席
	委員	中惣 恭子	出席	出席委員 3名, 欠席委員 1名		
出席説明者	教育次長 道端 祐一郎	出席	シニアマネージャー 山本 裕	出席		
	未来の教育課長兼教育研究センター所長 中谷 光恵	出席	教育庶務課長 三ツ橋 薫	出席		
	学校教育課長 吉田 明生	出席	学校教育課担当課長 村田 由美子	出席		
	市立高校事務長 山口 和博	出席	青少年育成課長 松野 真弓	出席		
	ひとつものづくり科学館副館長 浅野 幸恵	出席	図書館副館長 山崎 みどり	出席		
	教育庶務課参事 中屋 清志	出席				
書記						
傍聴者	0 名					
会議に付した議題	【議案】					
	議案第11号 小松市社会教育委員の選任について(青少年育成課)					
	【報告事項】					
	・図書館行事等について(図書館)					
	・平成30年度小松市教育委員会研究指定校について(学校教育課)					
	・平成30年度小松市立小・中・高等学校運動会日程について(学校教育課)					
	・小松市立学校における教職員多忙化改善に向けた取組方針について(学校教育課)					
	・小松市立高等学校吹奏楽部第37回定期演奏会について(市立高校)					
	・平成30年度スマイルワールドの実施について(青少年育成課)					
	・平成30年度土曜学習実施状況について(青少年育成課)					

教育委員会報告

平成30年5月11日

【議案】	
議案第11号 小松市社会教育委員の選任について	
所管部課名	青少年育成課
内 容	<p>平成30年度は小松市社会教育委員の改選年度。社会教育関連団体からの推薦により委員候補者が確定したため選任について同意を得るもの（候補者は資料参照）。</p> <p>委員の任期は2020年3月31日まで。関連団体からは3年後に開催予定の全国大会を見据えた方を推薦。</p>
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>3年後の全国大会を目途とした選任であれば過去の経緯も踏まえて充て職ではなく実際に活動を行える方にすべきではないか。会長等ではなく代表として選出されるべきではないか。</p> <p>また、意見の述べるだけではなく社会教育委員としての活動も行うような体制にすべきではないか。</p>
回 答	<p>【松野青少年育成課長】</p> <p>充て職の方については、推薦段階で任期は2年だが3年後の全国大会に向けて3年間活動をいただくことを説明し、了解を得ている。</p> <p>社会教育委員の活動の在り方については第1回目の会合で周知を行う予定。</p> <p>【石黒教育長】</p> <p>運動体として、全国大会を成功に導く組織になるようになれば良いと考えている。</p>
	議案第11号 承認
【報告事項】	
件 名	図書館行事等について
所管部課名	図書館
内 容	<p>① 5月の行事</p> <p>5月は「図書館振興の月」。また、12日までは「こども読書週間」のため関連した行事の準備を行っている。5月3日「藤見の会」にあわせたイベントについては悪天候が予想されたため屋内イベントのみとなったが、ステンシルバック作成は約30人の方が参加し制作を楽しんだ。好評な企画のため、今後は南部</p>

	<p>図書館での実施も検討。</p> <p>② 寄附採納 民話や昔話等の収集活動をしていたグループ「青垣」の元代表のご遺族より手作り絵本が寄贈された。また、現存していた民話の生テープをお預かりし、複製を作成（CD）し、貴重な資料の保存も実施した。</p> <p>③ テーマ展示 「本のカーニバル」, 「図書館をもっと身近に！」, 「消費者月間」, 「母の日」, 「追悼 かこさとし」などのテーマ展示を実施。</p> <p>④ その他 ビブリオバトル高校大会の開催日を8月11日から8月4日へ変更。図書館友の会の活動活性化のため6月23日に「読書会」を実施予定。市史編纂通史部会を5月13日に開催し、今後の調査方法、執筆方法を検討する。市史編纂は通史2巻が刊行されれば完了。</p>
教育委員等の意見	特になし
件名	平成30年度小松市教育委員会研究指定校について
所管部課名	学校教育課
内容	<p>① 継続実施 英語教育強化拠点地域事業として中海中学校校区で実施。外国語活動・外国語化に向け、完全先行実施し、学校体制づくりの実践研究を行っている。</p> <p>② 新規実施 30年度新規として国、県事業各1件、市事業4件を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国事業 … 「魅力ある学校づくり」をテーマ（不登校対策）に芦城中学校を中心に実施（2箇年）。 ・県事業 … 「いしかわ道徳教育推進事業」をして考え、議論する道徳の授業への質的変換を目的に実施。向本折小学校（30年度）、丸内中学校（30、31年度）。 ・市事業 … 国語を中心とした学力、授業力向上を目的に実施。苗代小学校、松陽中学校（2箇年）。小・中規模の中学校連携強化による学力、授業力の向上を目的に実施。国府、安宅中学校（2箇年）。松東みどり学園の魅力向上を目的とした中学校教諭による小学校での英語指導（2箇年）。

	<p>外部講師による専門的, 効果的な運動指導を目的に実施。栗津小学校 (30 年度)</p> <p>③ その他</p> <p>研究指定終了後も継続して実践を続けていくような働きかけをしていく。また, 研究が教員の指導力の向上に結びつくような実践的な事業を工夫していく。</p>
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>研究終了後も継続することは非常に大切なことである。予算が終了した取り組み事態も終了ということはよくあるが, 研究終了後も継続し, 成果を広める研究事業を続けて欲しい。</p>
回 答	<p>【石黒教育長】</p> <p>研究指定校である東陵小学校の英語授業を見たが, 楽しんで授業を受けており, 子どもから普通に英語が出てきていた。非常に良い研究ではないか。</p>
件 名	平成 30 年度小松市立小・中・高等学校運動会日程について
所 管 部 課 名	学校教育課
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 学期中に運動会を実施する学校が 6 校。秋季祭礼との関連や地域の行事との関係で時期を決める場合もあるが, いずれの学校も特色ある学校づくりの工夫の一つとして, 教育課程を組んでいる。1 学期に運動会を行う場合は, 2 学期に合宿を行うなど, 児童の主体性をはぐくむ行事については時期のバランスも考慮している。 ・ 航空祭開催日については, 現在は未定。昨年度と同じ 9 月中旬開催であれば, 予備日が重なる学校は何校かあるが当日に重なる学校はない。
教育委員等の意見	<p>【石黒教育長】</p> <p>学校は 9 月中旬に航空祭があることは知っていると思うが。運動会開催日は, 航空祭を意識して設定すべきではないか。</p> <p>【北村委員】</p> <p>航空祭の開催日について教育委員会として申し入れはできないのか。</p> <p>教育課程, 地域事情を考慮して開催日を設定して欲しい。前年踏襲は厳に慎むべき。</p> <p>【中惣委員】</p> <p>運動会を参観する保護者や地域の型のマナーについて, 気になるときがある。飲酒等, 教育の場にふさわしくない行為は慎んでいくよう働きかけてほしい。</p>

<p>回 答</p>	<p>【吉田学校教育課長】 開催日の情報はぎりぎりまでわからないので、開催日を事前に教えていただけるよう働きかけは行っている。 「教育の場」としてふさわしくない行為等は学校側も非常に気にしており、PTAと協力して対応をしていきたい。</p> <p>【石黒教育長】 教育委員会としての申し入れは行っている。</p>
<p>件 名</p>	<p>小松市立学校における教職員多忙化改善に向けた取組方針について</p>
<p>所 管 部 課 名</p>	<p>学校教育課</p>
<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の方針は、単に時間短縮だけを求めるのではなく、減らすというより組み替えるなど工夫し、より効果が上がるようにすることが大切と考えている。 ・成目標については、県の努力目標（65時間/月）を達成し、さらに市や学校の努力により少なくしていくことを目指して、時間外勤務時間を月55時間以下と設定。 ・取り組み方法は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> ① 月1回「定時退校日」を設定（学校ごと）。 ② 「最終退校時刻」の目標設定（ 〃 ）。 ③ 学校閉庁日を設定（30年度 8月14日～16日） ※閉庁日に緊急連絡は電話転送で対応。 ④ 中学校部活動の休養日設定（週2日）。 ⑤ 出退勤管理システムの導入。 ⑥ 調査・照会などの報告様式の簡略化。 ⑦ 教育委員会主催会議の整理、縮減。
<p>教育委員等の意見</p>	<p>【吉原委員】 出退勤システムは導入されていないため、勤務時間を正確に把握はできていない。 客観的に把握する取り組むではあるがリスクが伴う。①実態が想定を上回った場合は公表されるのか、②持ち帰り残業対策（情報漏えい）、を考慮する必要があるのではないか。 民間では現状を洗い出し、効果を検証するが、現在、具体的な縮減対象、検討方法などを検討しているのか。また、何時から始めるのか。</p> <p>【北村委員】 8月14日から16日までの学校閉庁日ということだが、17日も閉庁日にすれば土日ともつながり連続した閉庁日になるのではないか。</p>

回 答	<p>【吉田学校教育課長】</p> <p>これまでは客観的なデータでの把握はしていない。29年度は自己申告ではあるが出勤時間、退校時間、時間外勤務を調査した。現在、業務分類ごとの集計を行っている。実態としては中学校の時間外勤務が多い。</p> <p>出退勤システム導入の伴う実態は公表する予定。持ち帰り残業については、現在、行わないこととなっており、今後も守っていく必要があると考えている。</p> <p>現在、具体的な洗い出しはできていない状況。対象、実施時期については今後吟味していきたい。</p> <p>学校一斉閉庁日については、初年度のため小松管内の市町との情報交換、教職員の現状を考慮して設定した。</p>
件 名	小松市立高等学校吹奏楽部第 37 回定期演奏会について
所 管 部 課 名	市立高校
内 容	6月2日（土）、公会堂で市立高校吹奏楽部により定期演奏会が実施。
教育委員等の意見	特になし
件 名	平成 30 年度スマイルワールドの実施について
所 管 部 課 名	青少年育成課
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度より国際都市推進課において実施。機構改革により平成 30 年度より教育委員会にて実施。 ・これまでは認定こども園、幼稚園において外国語の歌、絵本の読み聞かせを主に実施。私立幼稚園では英語活動を積極的に取り入れているため、今年度より事業内容を見直し、外国の文化、風土、生活スタイルに触れることにより相互理解を深める内容に変更。 ・国際交流員、ALT を講師として活用。対象者も放課後児童クラブの児童まで拡大。実施期間は 8 月から翌年 2 月まで。学童については夏休み、冬休みのみの実施。
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>29 年度事業内容は同じなのか。</p> <p>教育委員会へ移管されたならば教育委員会の視点で事業を実施すべきである。</p>
回 答	<p>【松野青少年育成課長】</p> <p>昨年度は英語に触れることが目的であった。今年度は、外国との違いを知ることによりふるさとを理解する内容とした。</p>

件名	平成30年度土曜学習実施状況について
所管部課名	青少年育成課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度は3校区で実施していたが、30年度は串、粟津、西尾の3地区を追加し6校区で実施。 ・10年を経過する事業のため内容の充実、他地区への普及も含めて事業の拡大に努めていきたい。
教育委員等の意見	特になし
【前回の質問について回答】	
件名	青少年海外派遣事業における情報提供について
所管部課名	青少年育成課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘後、ホームページ上に活動内容を掲載（ゲーツヘッド及びアンガルスク）。 ・今年度の青少年海外派遣事業についても随時経過等を掲載する予定。
教育委員等の意見	特になし
【その他】	
件名	教育委員会会議の在り方について
内容	<p>【石黒教育長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の効率化等について提案。 ・教育委員会会議の目的は、教育のあるべき姿、基本方針などを協議する場、活動状況について点検、評価をする場、会議出席者のスキルアップ。 ・会議の種類は、決定の会議、伝えるの会議の2種類。 ・決定の会議については、事前の資料配布等により情報提供し検討し方針を決定。 ・伝える会議については、委員の方の助言を基に職員のスキルアップ、人材育成を図る場として重要。 ・時間的な制約がある関係で報告事項等は事前配布資料によって内容を把握して頂き説明は簡略化していきたい。 ・例年実施する事業でも改善等が必要なものについては事前にテーブルに揚げ検討し決定していきたい。
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>会議の開催時間を事前に決めて欲しい。中身の濃い会議にするために開催時間を決めたほうが良い。</p>

件名	次回教育委員会会議日程について
内容	日時：6月5日（火）午後1時30分 場所：小松市役所 6階 教育長室
【教育委員からの意見・提言】	
北村委員	<p>事務事業の点検・評価報告書の作成に早めに取り掛かって欲しい。</p> <p>小松市の英検3級相当の取得状況について教えて欲しい。3級と3級相当の割合もあわせて教えて欲しい。</p> <p>石川県は50.2%だが実際の取得者割合は。</p> <p>中学生の3級相当取得者が県と比較して低いのは残念。</p>
	<p>【吉田学校教育課長】</p> <p>29年度の3級以上（英語力を有する）取得者は40.9%。そのうち3級以上取得者は20.0%。</p> <p>県の3級取得者割合は50.2%のうち31.0%。市立高校では準2級相当以上は32.0%、英検準2級以上実取得者は24.0%。県では2級相当以上は44.3%、うち準2級以上取得者は25.9%。</p> <p>県と比較して取得率が低いのは受験者が少ないことが原因。</p>
吉原委員	<p>旧金野、西尾小学校の校舎の活用について、今後の方向性が出ているのであれば教えて欲しい。</p>
中惣委員	<p>教員の働き方改革も重要だが、勤務時間が短縮されることによって業務に追われて、子どもと向き合う時間がとれなくなってしまうようにお願いしたい。</p>